

〈平成25年度健全化判断比率〉

◎実質赤字比率	(黒字決算のため該当なし)
◎連結実質赤字比率	(黒字決算のため該当なし)
◎実質公債費比率 9.5%	(昨年 10.7% → 1.2%改善)
◎将来負担比率 53.4%	(昨年 59.8% → 6.4%改善)

〈平成25年度資金不足比率〉

◎北部簡易水道事業特別会計資金不足比率
◎南部簡易水道事業特別会計資金不足比率
◎農業集落排水事業特別会計資金不足比率
◎公共下水道事業特別会計資金不足比率
◎温泉施設特別会計資金不足比率
◎水道事業会計資金不足比率

全て黒字決算で該当なし

監査委員の決算審査意見

一般会計・特別会計の決算はいずれも誤りなく、帳票及び諸帳簿類等もよく整備され、会計・経理は適正であった。

(1) 池田温泉施設事業特別会計について

入浴利用料は2億2百万円で昨年比1.3%増となったが収入額から支出額を差し引いた利益は5百万円と平成23年度までと比較すると低くなっている。

(2) 共同給食センター建設事業について

給食センター建設は、単独での建設と比較するとかなりのメリットが享受できると考える。

平成25年度国民健康保険特別会計決算

歳入 23億 53百万円
(前年度対比 2.44%増)

歳出 22億 64百万円
(前年度対比 2.07%増)

(H25実質収支) - (H24実質収支) +
89,319千円 - 79,172千円 +

(基金積立金) - (基金取崩金)
17千円 - 0千円

= (実質単年度収支額)
= 10,164千円(黒字)

平成26年度一般会計補正予算

**5億18百万円を追加して
総額83億3千万円**

歳入の主なもの

前年度繰越金	4億 66百万円
県支出金(県補助金他)	28百万円
町債	18百万円

歳出の主なもの

総務費(財政調達基金積立金他)	3億 20百万円
農林水産費	61百万円
土木費	84百万円